

## 放課後児童クラブの課題解決を目指す

### 第1回放課後児童クラブのあり方検討委員会

町は「放課後児童クラブのあり方検討委員会」を設置し、9月4日、第1回委員会を開催しました。

現在、放課後児童クラブは保護者会により運営が行われていますが、課題も多く、今後も安定して運営を行うためには運営方法の見直しなどが必要です。

第1回委員会では、委員の互選により選出された今吉光弘いまよし みつひろ会長に、西村町長が諮問書を手渡しました。

今後、放課後児童クラブのあり方の審議が行われ、委員会から検討結果をまとめた答申を受ける予定です。



今吉会長に諮問書を交付



1 盛り付ける野々口さん 2 食生活改善推進員と一緒に調理 3 完成した料理

## 初心者も挑戦！ 簡単調理の男飯

### 令和5年度第1回男性限定料理教室

60歳以上の男性を対象とした料理教室が9月9日、保健福祉センターはびねす調理室で開催されました。

町地域包括支援センター主催の教室には、12人が参加。ヘルパーや町管理栄養士の説明を受けた後、各班に分かれ、てりうまチキン、具たくさんみそ汁、ピーマンの塩昆布和え、もやしのナムル、牛乳もちを作りました。野々口伸さん(南)は、「妻のエプロンを借り、初めての料理です。意外と簡単にできました」と話しました。

次回は12月23日に開催予定です。

## 関東大震災から100年 今、考える防災

### 防災の日関連プロジェクト 防災イベント開催

関東大震災から100年の節目を迎えた防災の日(9月1日)関連プロジェクトとして、復興まちづくりセンターにじいろで9月2日、防災イベントが開催されました。

午前には、備え・発災時の対応・避難の疑似体験ができる親子ワークショップ。非常用持ち出し品の展示や、町の避難所で使用するパーテーションを用いた避難所体験、耐熱ビニール袋で調理する「パッククッキング」などが行われ、参加した親子は、くまもと女性防災リーダー養成講座1期生や、地域おこし協力隊と共に各体験を楽しんでいました。

午後は、第5回目となる「みんなでツナグ」が開催され、6つの個人・団体が、熊本地震の記憶の継承活動について発表後、参加者と意見交換。最後に、にじいろ・震災記念公園・役場4階展望所を巡るツアーが行われ、さまざまな視点から防災について考える1日となりました。



1 ホットケーキミックスと野菜ジュースで蒸しパンを作るパッククッキング体験 2 女性防災リーダーによる紙芝居 3 防災かるた